

◎令和6年度夏号

◎発行日
令和6年9月6日(金)

学校通信

ふれあい

◎発行
青森県立田名部高等学校
全日制の課程
TEL (0175)22-1184
FAX (0175)23-7233
E-mail:tanabu-h@asn.ed.jp



校長 千葉 栄美

学校で身につける力

学校で見る生徒は、一様に礼儀正しく、真面目です。廊下を歩いてすれ違う際も挨拶をしてくれます。他愛もないことで話しかけても、本当に丁寧に答えてくれます。

では、こうした気質はなぜできあがるのか。それは多分家庭教育と、そして小中学校の教育なのだと思います。本校の生徒は、大人は「敵」ではなく、自分たちを教え導いてくれる人。支援してくれる人。だと思っていて、そのため素直に私たちの指導に従ってくれるのだと思います。多くの人が愛されて、丁寧に指導してもらった経験が今の生徒達を作ったのだと思います。本当に素敵なことだと思います。学問をするときに「素直さ」がないと絶対に伸びません。これが、本校の生徒が入学時の成績を大きく伸ばし、進路達成していく一番の理由です。

けれども同時に、「真面目で素直でおとなしい」だけで自由に生きられるほど世の中は甘くはありません。本気で他者とぶつかることも、批判的にもを見る目も、自分より立場が上の人に、時には反論を言う強さも必要です。その力を養うために高校での学びがありますし、学校祭、競技大会のような特別活動や部活動があるのだと思います。

様々な活動をする中で、ぶつかったり、考えたりしながら「素直に従う」だけではない。「何か」を生徒達自身につけていきます。普段の授業であんなにおとなしい生徒達が、それぞれ意見を言い合いながら、展示を作り上げて行く様子。声を張り上げて、模擬店のPRをしている様子。競技大会で熱狂する様子。部活動で勝負に挑む姿。を見るたびに私はなんだか嬉しくなります。この通信では学校のそんな様子をお伝えしたいと思います。

インターハイ・東北大会出場〔競技成績〕

ローイング部

三年四組 南澤 慧海
初めに、私はローイング部に入れたことを誇りに持ち、そして、支えてくださった全ての方に心から感謝します。一、二年生の頃、私は県選抜や東北大会、そして全国大会とも全く縁がありませんでした。県でも一回も勝ったことがなく、相手が天才だから仕方がない、勝った時は自分の力、負けた時は周りの人達のせいというひねくれた考えを持っていました。そんな私を変えてくれたのは周りの人たちでした。日々の挑戦の中で、多くの人の応援と期待が増えていくのを実感し、一人だと思っていたのに気がつけば多くの人に支えられていたことに気が付きました。だからこそ今まで之恩を結果で返せるように国体も頑張りたいです。



フェンシング部

第62回東北高等学校フェンシング選手権大会
(6月22日～24日 於：福島県)
男子団体 久保田流人・菊池響太
小野内蒼
佐藤優奈・堀内日南子
津川結菜・福士愛実華
佐々木愛結
女子団体 佐藤優奈・堀内日南子
男子エペ 菊池 響太
男子サーブル 久保田流人
女子フルール 津川 結菜
女子エペ 佐藤 優奈
堀内日南子
女子サーブル 川市さくら
全国高等学校総合体育大会フェンシング競技大会
(7月23日～27日 於：佐賀県)
女子フルール 津川 結菜

陸上競技部

第79回東北高等学校陸上競技大会
(6月14日～17日 於：福島県)
男子1100mハードル 祐川琳太郎
男子5000m競歩 富山 璃空
男子棒高跳び 佐賀 広
男子三段跳び 宮浦 普
男子円盤投げ 山本幸之介
女子3000m 寺嶋 心優
女子棒高跳び 手間本 恋
女子混成7種競技 沼田 莉音

卓球部

第78回東北高等学校卓球選手権大会
(6月28日～30日 於：三沢市)
女子シングルス 1回戦
猪狩夏希 3-0 一関第一
2回戦
猪狩夏希 0-3 秋田令和

剣道部

第70回東北高等学校剣道選手権大会
(6月22日～23日 於：宮城県)
男子個人戦 1回戦
久保田創士 ×10 聖光学院

水泳部

第72回東北高等学校選手権水泳競技大会
(7月19日～20日 於：福島県)
男子200m平泳ぎ 佐々木晃明
男子200m個人メドレー 佐々木晃明

放送委員会

第71回NHK杯全国放送コンテスト
(7月23日～25日 於：東京都)
朗読部門 優秀賞 菊池 美優
出場 坂井ひかり
第48回全国高等学校総合文化祭
(8月2日～4日 於：岐阜県)
放送部門 出場 菊池 美優



学校ホームページに部活動の戦績を掲載しています。ご覧になってください！

授業の様子

教務主任 渡邊 恭平

本校の生徒の授業の様子ですが、どの教科に対しても真摯に取り組んでいます。自分の高校時代の頃と比べると感心させられます。

私が日々の授業の中で生徒に感じてもらいたいことは、以前の自分との「変化」です。

授業を通して「新しい知識が増えた」、「意見交換をすることで新しい考え方ができるようになった」などの「変化」は自身を成長させ、今後の生活をより豊かにしていくものです。本校教員の熱のある授業、ペアワークやグループワークの実施、ICTを積極的に取り入れた授業など、本校の恵まれた学習環境の中で日々「変化」していくことを願います。



演習に取り組む様子



【総探】発表の様子



【論表I】ペアワークの様子



座学の様子



【生物】実験の様子



【公共】新聞を読もう



グループ活動の様子



【英コミュI】ALTとのグループワーク

田高祭&競技大会

「協力し合った田高祭」

生徒会 坂本 穂花

生徒会総務部では田高祭がより良いものになるように看板作成、生徒会企画やT1グランプリなどを考え実行しました。看板作成では一年生の生徒会総務部を中心に看板のデザインを考え、高校の入口に展示しました。仲間と協力して一つのものを作り抜く良い機会になりました。生徒会企画では小さい子どもでも学生でも大人でも楽しめるようにさまざまなクイズを考えました。校内に小さい子ども向けのクイズ、高校生や大人向けのクイズが書かれた紙を掲示し、解けた景品としてお菓子をプレゼントしました。来校者や生徒が全員楽しめた企画になったと思います。T1グランプリとは模擬店部門やクラス展示部門などの各部門で、一番楽しめたクラスの順位を、来校者や生徒の投票によって決めるグランプリのことで。たくさんの方に投票してもらいました。どのクラスも楽しめる展示を作ったり模擬店の外装を考えたりなど、仲間と協力しながらいいものを作ることができていたと思います。田高祭がきっかけでより一層クラスの仲が深まりました。来年も来校者や生徒全員が楽しめる企画を考え、より良い文化祭にするために生徒会総務部全員で一生懸命活動に取り組んでいこうと思います。



田高祭：なんでもコンテスト



競技大会：33HR応援



競技大会：ジェンガタワー



競技大会：男子バスケットボール



田高祭：模擬店の様子



田高祭：開祭式



競技大会：32HR応援

高校説明会

七月三十日(火) 学校説明会を行いました。中学生約二百七十名、保護者・教員約五十名、合計三百二十名が参加してくださいました。

生徒会による学校の説明、放送委員会による部活動の紹介、課題研究の発表、プロジェクトチームによる活動報告の発表がありました。パワーポイントやスライドで発表資料を作成し、どうすれば伝わりやすくなるかを考えて発表を行いました。最後に、生徒会副会長挨拶では、田名部高校が多様性にあふれている素晴らしい学校であることや、たくさんの方の仲間になって自分らしさを見つけていくことができていることを述べていました。説明会後のアンケートには、「生徒会副会長の挨拶が印象的だった」「生徒の皆さんが優しくて思いやりがあった」という意見が多くありました。

生徒が中心となり、田名部高校の授業の取り組み、部活動の紹介など「田名部高校らしさ」を伝えることができた説明会になったと思います。当日、参加してくださった中学生、保護者、引率の先生の皆さま、暑い中ご参加いただきありがとうございます。

